

## 事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年3月31日
2次評価日（課長等）	26年3月31日

1 事業名	新分野開拓推進事業	コード	11208
-------	-----------	-----	-------

2 担当部課	部等	経済部	課等	工業振興課	作成者	真田 健
--------	----	-----	----	-------	-----	------

3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち		
		政 策	基幹産業の振興	施 策	工業の振興
		予算科目	新分野開拓推進事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	個々で工業展に出展することが困難な企業が、共同出展という形でブースをかまえ、自社の技術PRを行う場の提供を行う。	
目的	対象者	市内企業（展示会に出展し、自社PRを必要とする企業）
	意 図	新規受注確保

5 事業の実施内容		*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
<p>■全国規模の工業展において、市が出展小間を確保し、小規模企業の部品や製品を集めて共同出展した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ながのものづくり技術展2013 in なごや：愛知県（11社、1グループ）</li> <li>・第16回関西機械要素技術展：大阪府（7社、1グループ）</li> <li>・第4回精密・微細加工技術EXPO：東京都（7社、1グループ）</li> <li>・諏訪圏工業メッセ：諏訪市（44社関係団体9社）</li> <li>・諏訪圏ものづくり新技術・新工法展示商談会 IN TOYOTA（14社）</li> </ul> <p>■新規受注開拓推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会出展事業補助金（交付件数：4件、交付金額：1,773,000円）</li> </ul> <p>■中京圏・首都圏産業振興活動拠点事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中京圏企業訪問（36件） 首都圏企業訪問（88件）</li> </ul> <p>■フェイスブック活用講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（参加者：45名）</li> </ul>		
前年度の課題への対応	市内企業が新たな受注を確保するため、より効果的な展示会を見極める。	

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	出展社数			単位	社
実績値	92	81	82		
*指標の説明	出展社数				
② 成果指標（指標名）	商談の引合いのあった件数			単位	件
目標値	274	164	86	134	
実績値	164	86	134		
達成度	59.9%	52.4%	155.8%		
*指標の説明	商談の引合いのあった件数（試作、見積依頼、商談予約）				
*目標値の設定方法の説明	前年度実績				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	17,493,940	8,639,301	14,392,840	10,783,300
経常経費	17,493,940	8,639,301	6,394,955	5,182,300
臨時的経費	0	0	7,997,885	5,601,000
* 臨時的経費の説明	展示会出展経費			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000
正規職員の人数(人)	0.75	0.75	0.75	0.75
③ 合計コスト(①+②)	23,493,940	14,639,301	20,392,840	16,783,300
前年度比		62.3%	139.3%	82.3%
財源内訳				
一般財源	18,373,940	11,979,301	17,107,840	14,559,300
特定財源	5,120,000	2,660,000	3,285,000	2,224,000
* 特定財源の説明	展示会出展実費徴収金			
④ 活動一単位あたりコスト	255,369	180,732	151,158	
前年度比		70.8%	83.6%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
諏訪圏工業メッセ補助金	件数	1	1	1	1
	金額	2,502,000	2,516,000	2,505,600	2,500,480
試作支援事業補助金	件数	0	0	0	3
	金額	0	0	0	300,000
展示会出展事業補助金	件数	4	8	4	18
	金額	7,800,000	3,700,000	1,773,000	3,100,000
海外販路開拓支援事業補助金	件数	0	0	0	2
	金額	0	0	0	200,000
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	10,302,000	6,216,000	4,278,600	6,100,480
	割合	58.89%	71.95%	29.73%	56.57%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	155.8%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	155.8%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 大手企業の生産拠点の海外移転等の影響により、国内受注の減少傾向やコストダウンが深刻な状況となっており、市内企業の受注確保が非常に厳しい状況になっている。 また、新製品等の新規販路が必要となる。	
	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 共同出展する展示会の見直し。 ものづくりチャレンジ企業応援事業採択企業への出展誘導をする。	
改善方法		
改善開始時期	平成26年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---